

事務事業名		岩手県しいたけ産業推進協議会参画事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05:豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	20:産地化をめざした農林業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01:林業の振興					01	06	02	01	08
根拠法令											
所属	部課名	農林水産部農林課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和43 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
	係名	林業係	電話	44-2112							
			内線	121							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 岩手県しいたけ産業協議会は、県内のしいたけ生産団体及び関係機関等の連絡を密にし、生産、流通等の諸問題の解決を図り、もって岩手県しいたけ産業の発展に資することを目的としている。 ・岩手県乾しいたけ品評会に参加し、しいたけ栽培関係の各種情報を得ている。 ・構成団体として、協議会に対して、負担金を拠出している。						全体計画(期間限定複数年度のみ)					
						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計 (A)			0
						人件費	正規職員従事人数				
							延べ業務時間				
							人件費計 (B)			0	
							トータルコスト(A) + (B)			0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動) 岩手県乾しいたけ品評会への参加。 協議会に負担金を拠出している。		名称	単位
		ア 総会出席回数	回
		イ	
		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様。			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 岩手県しいたけ産業推進協議会		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 協議会構成団体数	団体
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 負担金の納入により、協議会の運営が健全なものとなり、しいたけ栽培に関する有効な情報が継続的に発信される。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 総会出席人数	人
		シ 情報誌送付冊数	冊
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 林業生産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円					
			都道府県支出金	千 円					
			地方債	千 円					
			その他	千 円					
			一般財源	千 円	25	25	25	25	25
	事業費計 (A)		千 円	25	25	25	25	25	25
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	3	3	3	3	3	3
		人件費計 (B)	千 円	12	12	12	12	12	12
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	37	37	37	37	37	37
活動指標		ア	回	1	1	1	1	1	
		イ							
		ウ							
対象指標		カ	団体	35	29	29	29	29	29
		キ							
		ク							
成果指標		サ	人	1	1	1	1	1	1
		シ	冊	2	2	2	2	2	2
		ス							

事務事業ID	0547	事務事業名	岩手県しいたけ産業推進協議会参画事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 県内のしいたけ生産団体及び関係機関等の連絡を密にし、生産、流通等の諸問題の解決を図り、もって岩手県しいたけ産業の発展に資することを目的に昭和43年に開始した。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・農業従事者の減少、高齢化が進んでいる。所得が安定していないため、新たな後継者がなかなか育たない。また、品評会等に積極的に参加するなどの意欲も低下している。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市内のしいたけ生産者から、ほだ木造成に対する資金援助等を望まれている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 協議会への参画を通し、全国レベルでの乾しいたけの生産状況を把握することが可能で、それらを当市乾しいたけ生産振興に、役立てる事業であるから、政策体系と結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 協議会への参画団体は、県内の市町村等であることから、それぞれの市町村等がこの協議会への参画を通し、乾しいたけ生産振興を図ることになるので、関与は妥当。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 協議会に負担金を納入して運営を支えることで、しいたけ産業の振興に有効な情報を得ることになるので、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 引き続きしいたけ産業の振興につながる有効な情報を得るためにも、継続して事業に参画する必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 全国及び県内における乾しいたけ生産にかかる適切な、情報を得るために、協議会への参画は必要であり、事業の廃止・休止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 岩手県乾しいたけ品評会に参画する事業は当該事業のみで、他の事業との統廃合はできない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は負担金のみで、削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 負担金納入事務にかかる担当職員の人件費であり、削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者負担は発生しない

事務事業ID	0547	事務事業名	岩手県しいたけ産業推進協議会参画事業
--------	------	-------	--------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 岩手乾しいたけ品評会に参加することにより、しいたけ栽培に関する有効な情報を得ている。事業を継続することが成果の維持につながる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 引き続き、しいたけ生産の振興につながる有効な情報を得るためにも、継続して事業に参画する必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
